

第9回川西市中心市街地活性化協議会議事録要旨

- ◇日時 平成20年12月16日 10:30～11:30
- ◇場所 アステ川西「コンパス130」
- ◇議題 議題1:平成20年度事業について(事業経過と今後の活動予定)
議題2:川西市中心市街地活性化基本計画について
その他:協議会活動のご案内(ワーキンググループ活動案内等)

<議案1・2に関する主な意見>

①歩行者通行量の減少について

- <委員>・通行量調査における減少の理由は何か。
- <事務局>・平成13年度までは、川西能勢口駅周辺の再開発事業が概ね完了し、商業活動が活発に行われていたが、その後、施設の老朽化や更新等がなかったため、徐々に通行量が減少しているのではないかと。また、今年春先のジャスコ閉店も大きな影響があった。

・歩行者通行量の減少をきっかけに、真剣に協議会構成員の皆様が主体となった活性化に取り組む必要がある。
- <委員>・中心市街地における歩行者通行量の減少は、パイ自体が減ってきているのか。それとも、競争の激化に伴う減少なのか。
- <事務局>・パイ自体が減っているということではないのではないかと。むしろ、周辺都市に大型小売店舗の立地により、競争が激化しているのではないかと。
- <委員>・自動車で中心市街地にアプローチする際には、駐車料金のキックバック等のインセンティブが受けられるが、鉄道利用者へのそういったサービスは見られない。公共交通機関を利用する来街者へのインセンティブは検討できないものか。
- <委員>・交通事業者との協働が必要であると思うため、今後も連携していきたい。
- <委員>・ワーキンググループの具体的な進め方等について伺いたい。
- <事務局>・本基本計画で示した事業メニューの具現化を行い、滞留と回遊を目指した取り組みに向けたアクションプランの検討を行いたい。
- <委員>・中心市街地活性化には、地元住民の危機感が不可欠である。歩行者通行量の減少という結果は危機感につながるが、たとえば、季節ごとの歩行者通行量等を調査し、もう少し細かく分析してはどうか。7月に外を歩こうという方は少ないのではないかと。
- <委員>・商業のデータについては、これまで市全体のデータなどであったが、アステ川西やパルティ川西の商業データにより、より具体的な衰退の動向等を示すことが必要ではないかと。
- <委員>・顧客データの調査など、常に市民ニーズがどのようになっているかを把握しておく必要がある。
- <委員>・自動車利用と鉄道利用の結節部の連携を図ることが必要。
- <委員>・ワーキンググループについては、“実戦”と“研修”を繰り返して進める事が重要である。

②その他

- <事務局>・ワーキンググループ会議は、12月24日に第一回を開催し、年度末までに計4回を予定している。

・2月には視察研修を予定している。また、3月には柏市インフォメーションセンターの藤田氏を招いてのシンポジウムを検討しているため、お誘い合わせのうえ、ご出席を賜りたい。